

たんの小史  
ふるさとと端野 90

端野町の

祭事と諸事業について(その6)

ふるさと端野一〇〇年記念事業

〇ふるさと端野一〇〇年記念事業

二一人委員会の設置

私たちのふるさと端野は、平成八（一九九六）年に開基一〇〇年を迎えました。

この一〇〇年という輝かしい歴史をしつかりと受け止め、二一世紀に向けて活力のある人づくり、町づくりのため記念事業を計画し、推進するために、町内各自治連合会から推薦された十名、町内諸団体から推薦された十一名の二二名により「ふるさと端野一〇〇年記念事業二一人委員会」（以下「二一人委員会」と記述します）を平成五（一九九三）年八月二三日に設置しました。

委員及び所属部会は次の通りです。（敬称は略します。）

委員長 （総務部会）

岩原 重吉（端野自治連合会）

副委員長（総務部会）

岩崎 保男（連合端野支部）

総務部会部会長 中 秀一（端野町PTA連合会）

副部会長

伊藤 浩司（三区自治連合会）

第一部会長 岡村 廉明（端野町商工会青年部）  
副部会長 村中 淳（端野町農協青年部）

委員

土山 清隆（一区自治連合会）

土山 貞夫（忠志自治連合会）

佐藤 哲夫（豊実自治連合会）

谷川 純一（端野町青年団体協議会）

田丸 トミ子（端野町婦人団体連絡協議会）

野口 穂枝（端野町商工会婦人部）

三村 ユキ子（端野町農協婦人部）

菅野 和美（端野町子ども会育成協議会）

第二部会長

小川 吉猶（二区自治連合会）

副部会長 嶺 陽一（協和自治連合会）

委員 榎山 春雄（緋牛内自治連合会）

丸本 忠行（川向自治連合会）

田中 勇（北登自治連合会）

菅原 陽子（端野町農協婦人部若妻会）

水野 保（端野町老人クラブ連合会）

\*総務部会へ総務、総括的事項、資金等に関する事項

\*第一部会へ記念事業に関する事項

\*第二部会へ記念施設に関する事項

\*事務局へ端野役場開基一〇〇年記念事業推進室

また、この会に顧問を置くことができるとし、次の方々を「顧問」として委嘱しました。（敬称は略します。）

顧問 中田 幸雄（端野町議会議長）

三好 黄吉（端野町農協組合長理事）

東 保行（端野町商工会長）

篠原 正澄（端野町森林組合長）

佐藤 輝昭（端野町観光物産協会会長）

三村 弘次（端野町体育協会会長）

貝沼 直人（端野町文化連盟会長）

門脇 貞夫（端野町自治連絡会長）

西川 栄松（端野町社会福祉協議会会長）

さらに、端野町役場内にも「委員会」を設置し、「二一人委員会」との連携を図り実施に向けて諸活動を行いました。

〇「二一人委員会」の

中間審議報告について

二一人委員会は、委員会及び各部会での調査や審議、メインテーマ、シンボルマークの募集や住民アンケート調査等を行い、顧問会議に諮り、平成六（一九九四）年二月十二日、「ふるさと端野一〇〇年記念事業審議及び活動の中間報告」を文書で端野町長に行いました。

この中間報告の概要は、次の通りです。

一、ふるさと端野一〇〇年記念事業の基本構想の策定について

(一) 記念事業の意義

ここに端野町が開基一〇〇年の記念すべき節目を迎えるにあたり、先達の不屈の努力を偲び、その偉業に感謝し、その意義を町民一人ひとりが受けとめ、町民参加のもとに、端野町二世紀の出発点として、ふるさと一〇〇年記念事業を進めます。

(二) 記念事業の基本理念

① 端野町の歴史、史実、文化を正しく受け止め、後世に伝え、新しい文化を創造していきます。

② 限りない未来に向けて、より美しく、より豊かな町づくり、人づくりを目指していきます。

③ 新しい時代に向けて、全ての町民が町づくりのシンフォニーを奏でることができるようを目指していきます。

(三) 記念事業のねらい

① 二一世紀にむけて、明日の活力とうるおいを生み出すまちづくり、人づくりに結びつく事業を推進します。

② 歴史、自然、文化などの資源を受け継ぎ発展させる事業を推進します。

③ 一〇〇年を記念し、後世に誇りをもって伝

二、住民アンケート集計結果について  
 えることができる事業を推進します。

町内全戸対象「端野町二一世紀のイメージ」  
 「記念事業のねらいについて」「その他記念事業についての意見」\*結果は省略します。

三、メインテーマ・シンボルマークの決定

\*メインテーマ

「笑顔で迎えるみんなの一〇〇年僕らのまちが加速する」

\*この作品は、川名 晋史さん(端野町二区)、菊池 大悟さん(端野町協和)の合作です。

\*シンボルマーク



シンボルマーク

\*この作品は、名達 和俊氏(北見市、端野小学校教諭) 伊藤 達寛氏(雄武町、元緋牛内小学校教諭)の合作です。

(一) 記念事業の概要

\*記念事業

…一〇〇年記念メモリアルロードの造成  
 …環境フォーラムの開催

…記念式典  
 …文化イベント(端野町文化連盟と協議しながら企画する)

…スポーツイベント(端野町体育協会と協議中)  
 …一〇〇年コンサートの実施(これまでやったことのない規模でのコンサート)



ふるさと端野100年広告塔

…人づくり交流事業  
 …端野体験ツアーの実施  
 …森と木の里の整備  
 …地域産業の振興(国道三九号線沿いに「道の駅」「さわやかトイレ」の設置)

\*関連主要事業

…端野町史の発行  
 …一〇〇年記念要覧の作成  
 …記録ビデオの作成

\*各種協賛事業

…太陽まつり

…町民運動会  
 …カレーライスマラソン  
 …芋掘り体験ツアー

…体育、文化事業  
 …全町子ども会ふれあい事業

…その他

\*付帯意見(項目のみ記述します。)

① 具体的な市街地計画の策定  
 ② 公共下水道の普及  
 ③ 交通機関の整備

④ 児童公園の整備

⑤ 臨森林型クリーンパーク整備事業の充実  
 ⑥ 端野駅前周辺開発整備事業の推進

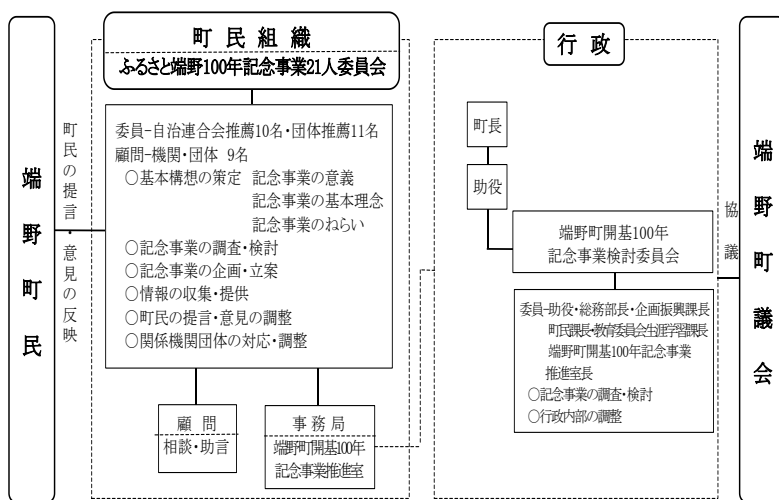
⑦ 端野メビウススキー場を夏期間の観光資源に  
 ⑧ 常呂川流域の親水施設の整備

⑨ 歴史民俗資料館の充実

○ふるさと端野一〇〇年記念

事業推進体制について

ふるさと端野一〇〇年記念事業は、前述の通り一人委員会が中核となり調査、協議し策定した。町民による町民の一〇〇年記念事業であり、この事業の推進体制を図表で示すと、次のようになります。



ふるさと端野100年記念事業推進体制 (町民組織・議会・行政機構との連携)

\*参考文献

新端野町史(平成十年十月十日発行 端野町)  
 北見市役所端野総合支所保管の関係書類

田中 誠